

特別展

華麗なる京時絵

三井家と象彦漆器

平成23年 12月3日「土」

↓平成24年 1月29日「日」

主催 細見美術館

特別協力 三井記念美術館 協力 株式会社象彦

入館料 一般 一〇〇〇円(八〇〇円) 学生 八〇〇円(六〇〇円)

休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌火曜日)

開館時間 午前10時～午後6時(入館は、午後5時30分まで)

会場 細見美術館 京都市左京区岡崎最勝寺町6-3

075-752-5555
<http://www.emuseum.or.jp>

年末年始 12月26日～1月2日

Zohiko Urushi Art from the Mitsui Memorial Museum Collection

特別展

華麗なる京時絵

—— 三井家と象彦漆器 ——

平成23年12月3日[土] → 平成24年1月29日[日]

年末年始休館 12月26日～1月2日

三井家は「江戸店持ち、京商人」(京都に居住し、江戸に店を構える商人)として京文化を担ってきました。明治維新以降、西洋文化の流入に日本の美術工芸の衰退を危惧した三井家は、京焼の永楽家など京都の工芸を積極的にパトロネージしてゆきます。その手厚い庇護のもと贅を尽くした豪華な時絵を創出したのが京都の漆器商、象彦です。

寛文元年(1661)創業の象彦は、明治から昭和戦前期にかけて三井家をはじめとする旧財閥や皇室などの愛顧をうけて、数多くの名品を制作してきました。

本展は三井記念美術館のご協力により、三井家旧蔵の時絵作品約40点を関西で初公開致します。この機会に日本が誇る伝統工芸「時絵」の華やかな煌めきをご堪能下さい。



四季時絵香合 象彦(西村彦兵衛)製
大正～昭和時代初期 三井記念美術館蔵



京漆匠 象彦

創業350年の歴史を持つ象彦。その歴史は、近江國小浜村出身の初代西村彦兵衛(1719～1773)が、享保16年(1731)に京都の唐物屋・象牙屋へ奉公し、主家の断絶にあたりその跡を継いで、象牙屋彦兵衛と名乗ったことに始まる。

(創業年の寛文元年<1661>は主家の象牙屋初代から起算)。現在は9代当主が家業を継承し、連綿と京漆器の製造販売を続けている。

特に八代 西村彦兵衛(6代彦兵衛の長男)は漆器技法の研究に努め、明治・大正・昭和期にかけて多くの名品を制作した。内国勸業博覧会や万国博覧会等への積極的な出品や宮内省の御用を受け、大正天皇の御大典に際し、御料車の漆芸や蒔絵を担当、さらには大宮御所・二条城などの塗蒔絵工事にも携わっている。

三井家をはじめ、住友家などの財閥家の御用も受け、象彦を大きく発展させ、昭和29年に株式会社象彦を設立した。

株式会社 象彦 <http://www.zohiko.co.jp/>



三井家と象彦

象彦は現存の資料より、三井11家のうち北三井(総領家)・伊皿子三井家・南三井家・室町三井家など複数の家に入出入りしていたことがわかる。(ただ、北三井家・室町三井家以外の家における象彦作品の伝存状況は詳らかではない)

三井家の中でも特に象彦の蒔絵を愛好したのが、北三井家の十代当主・三井高棟(みついたかみね)(1857～1948)。三井記念美術館所蔵の象彦作品38件のうち、15件の作品外箱に高棟の愛用品を示す「北泉閣蔵」の小方印が捺されていることから、その愛用ぶりがうかがえる。

この高棟は日本の伝統文化・芸術への関心が高く、さらにはそれらの保護・育成にも熱心に取り組んだ。特に、自身の生まれ育った京都の美術工芸への庇護には力を注ぎ、日本画家や千家十職の樂吉左衛門、中川淨益、飛来一閑、大西清右衛門、黒田正玄、中村宗哲らに入出入りし、娘たちの婚礼などに際して大量の注文を出したとされる。そして、蒔絵において最も重用されたのが象彦・西村彦兵衛であった。



唐花唐草蒔絵経箱 象彦(西村彦兵衛)製
明治～昭和時代初期 三井記念美術館蔵



三井家のオーダーメイド

三井家旧蔵の象彦漆器の多くは、吟味された最高の材料が惜しみなく使用され、大変凝った意匠が施されている。これらの多くは使用された形跡がほとんどなく、鑑賞用の美術品として大事にされてきた。

三井家が象彦に蒔絵を特別注文する際の大きな特徴とも言えるのが、その基本材料となる金塊や銀塊をはじめ、水晶などの鉱石は三井鉱山から提供されたことである。近代三井の発展に大きく寄与した三井鉱山があったからこそ、本展出品作品の一つ「月宮殿蒔絵水晶台」の鉱石象嵌のような独創的な作品を創出することが出来たのであろう。



月宮殿蒔絵水晶台 象彦(西村彦兵衛)製
明治～昭和時代初期 三井記念美術館蔵

お問い合わせ先

細見美術館 京都市左京区岡崎最勝寺町6-3

学芸担当 伊藤京子 広報担当 三宅 由紀

TEL/ 075-752-5555 FAX/ 075-752-5955

E-MAIL/kouhou@emuseum.or.jp